

I 第1週の発生動向 (2010/1/4~2010/1/10)

インフルエンザについては、県内すべての保健所管内において**警報**が解除となっています。

II 第1週五類感染症定点把握

注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		保健所名	定点数				
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点		インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
小児科+内科 (85) インフルエンザ	54	3.9	36	2.4	78	5.6	20	2.9	67	7.4	23	3.8	278	4.3	-225	4	2.0	50	4.2	保健所名	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
小児科 (74) RSウイルス感染症	4	0.4	8	0.9	3	0.3	3	0.6	3	0.5			21	0.5	-5			4	0.5						
(75) 咽頭結膜熱	1	0.1	4	0.4					1	0.2	2	0.5	8	0.2	3			1	0.1						
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	0.9	2	0.2	1	0.1	1	0.2	10	1.7	6	1.5	28	0.7	10			8	1.0						
(77) 感染性胃腸炎	67	7.4	33	3.7	23	2.6	9	1.8	45	7.5	47	11.8	224	5.3	89	5	5.0	62	7.8						
(78) 水痘	26	2.9	6	0.7	7	0.8	2	0.4	6	1.0	3	0.8	50	1.2	16	2	2.0	24	3.0						
(79) 手足口病	1	0.1							1	0.2			2	0.0	1			1	0.1						
(80) 伝染性紅斑	2	0.2	1	0.1	1	0.1			5	0.8			9	0.2	5			2	0.3						
(81) 突発性発しん	4	0.4	5	0.6	5	0.6	2	0.4	3	0.5	2	0.5	21	0.5	4			4	0.5						
(82) 百日咳															0										
(83) ヘルパンギーナ															0										
(84) 流行性耳下腺炎	10	1.1			5	0.6	5	1.0	11	1.8			31	0.7	24			10	1.3						
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0										
(87) 流行性角結膜炎					1	0.5	1	1.0					2	0.2	1										
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	6	6.0					1	1.0	8	1.3	4										
東地方	2	1	1	0	0																				
弘前	15	9	6	3	1																				
八戸	14	9	5	2	1																				
五所川原	7	5	2	1	1																				
上十三	9	6	3	2	1																				
むつ	6	4	2	1	1																				
青森市	12	8	4	2	1																				
合計	65	42	23	11	6																				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患

(9) 結核(二類全数把握疾患)：青森市1人、八戸1人

(22年計：2人)

IV 病原体検出情報

病原体検出情報はありませんでした。

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の窓

腸管出血性大腸菌感染症

(2007-2009年)

表1 血清型別累計(青森県)

	血清型	地域別					
		東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
2009	O157	6	1	7		5	1
	O26		3	5			
	O165	2					
	O18		1				
	O111						3
2008	O157	3	4	6	1	2	4
	不明	1					
2007	O157	4	5	3	2	10	8
	O26	1		2			
	O103	1					
	O111	1	1				

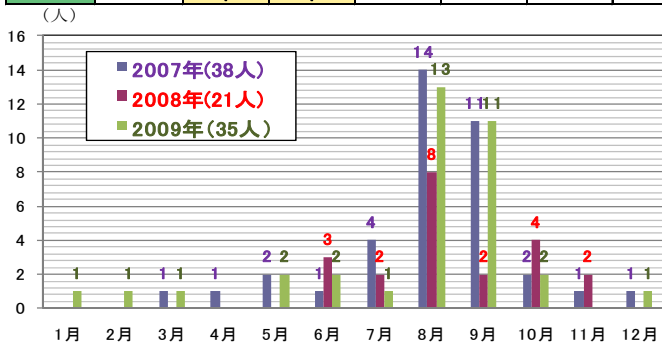
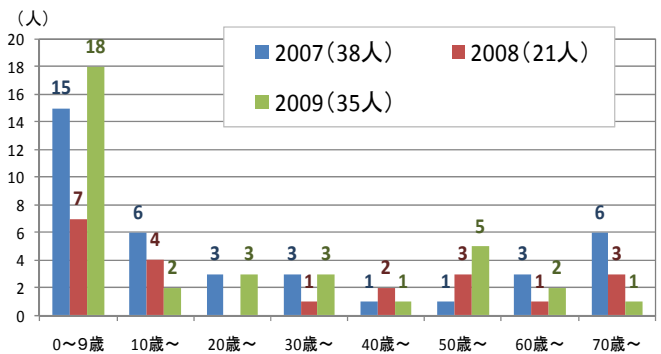


図1 月別届出数(青森県)

2009年青森県における腸管出血性大腸菌感染症は累計35人でした。血清型別では、O157が最も多く、その他O26、O165、O18、O111、O91が検出されています(表1)。年齢別では9歳以下が最も多く、月別では8月~9月が最も多い患者数でした(図1,2)。2009年は1年を通して届出が見られているため、感染予防として、肉類などを十分加熱して食べることや手洗いの励行は引き続き重要です。

V インフルエンザ情報 (注: 届出数は速報値です)

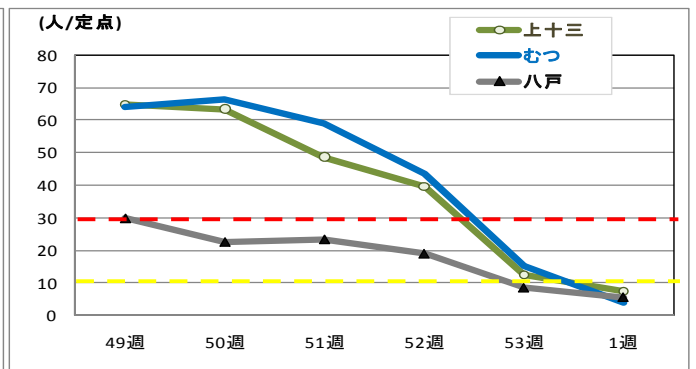
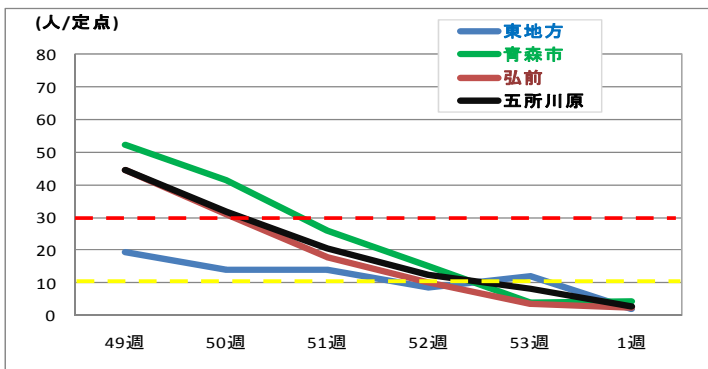
・青森県全体の届出数は 278 人 (225 人減少) です。

	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	1週(2010)
東地方+青森市	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	—	—
弘前	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	—	—
八戸	注意報	注意報	警報	警報	警報	警報	警報	—	—
五所川原	注意報	注意報	警報	警報	警報	警報	警報	—	—
上十三	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	—
むつ	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	—

V-1 迅速診断キットによる型別は以下の通りです。

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	4	36	78	20	67	23	50
A型	4	36	57	20	67	23	46
B型	0	0	0	0	0	0	1
不明	0	0	21	0	0	0	3

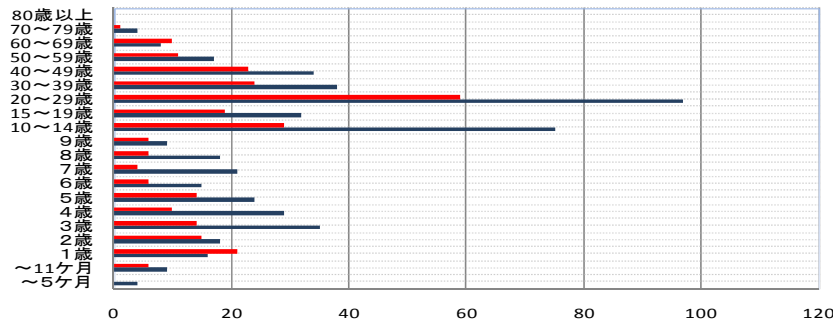
V-2 保健所管内別の定点あたり届出数推移



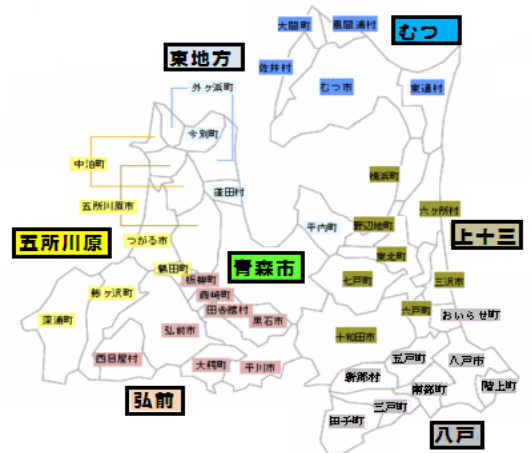
・警報開始基準値は 30 人/定点 (図赤破線)、終息基準値は 10 人/定点、注意報開始レベルは 10 人/定点 (図黄色破線) です。

V-3 年齢別構成 (2週比較) 単位: (人)

(青森県保健所管内マップ)

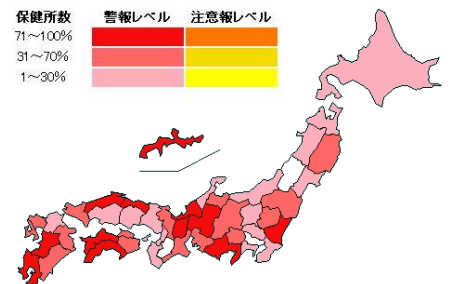
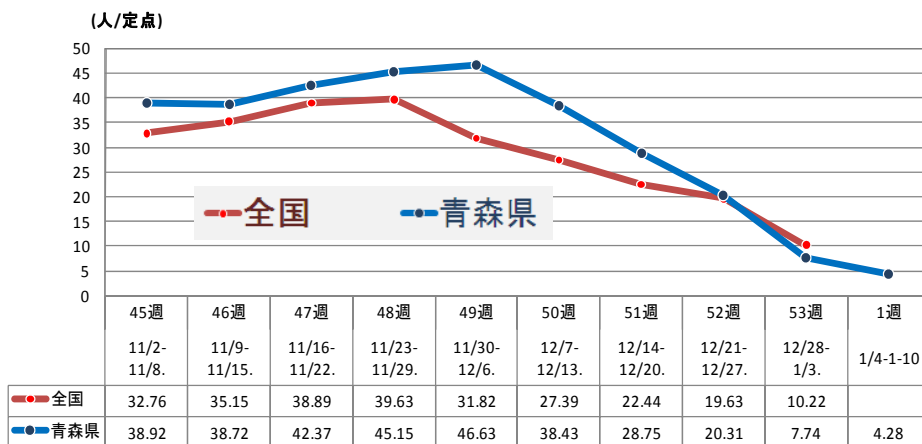


年齢	1週	53週
~5ヶ月	4	9
~11ヶ月	6	16
1歳	21	18
2歳	15	35
3歳	14	29
4歳	10	24
5歳	14	15
6歳	6	21
7歳	4	18
8歳	6	9
9歳	6	75
10~14歳	29	32
15~19歳	19	97
20~29歳	59	38
30~39歳	24	34
40~49歳	23	17
50~59歳	11	8
60~69歳	10	4
70~79歳	1	0
80歳以上	0	0



V-4 全国比較 (2009年44週~2010年1週) ※全国値は53週までです。

※全国値は53週までです。



第53週感染症発生动向調査
 図中白い部分 (山形県、東京都、奈良県) は、警報発令保健所が存在しない都道府県です。